

(令和6年度)  
自己評価書

園番号	園名
707	月ヶ瀬こども園

707月ヶ瀬こども園

大項目	中項目	小項目	具体的評価項目及び指標	取組と成果	評価	評価の観点・理由	課題及び改善方策
I 教育・保育活動に関するもの	(1) 教育・保育目標/計画	① 教育・保育目標の設定	・園の状況を踏まえた教育目標を設定し、取り組み、方針を周知する。	・年度当初に方針を示し、目標が達成できるように子ども理解や捉え方を共通理解し、努力した。 ・子ども達の姿を出し合い、全体的な計画に沿った働きかけができていないか、会議を持ち話し合った。 ・保護者に園評価のアンケートを実施し、意見を聞いた。	A	・職員間で漏れ落ちのないよう教育・保育目標の共通理解を図った。 ・保護者に向けドキュメントやでいあシート、ホームページを作成することで教育・保育の振り返りにつながった。	・目標や方向性を明確に示し、全職員で共通理解をした上で、職員間で方針の確認をし、日々保育を振り返り子ども理解や関わりを職員間で話し、意識していくことが大切である。
		② 教育・保育計画の作成	・職員の適正に応じた配置を行う。		A		
		③ 教育課程/全体的な計画の編成	・職員間で業務内容を共通理解し、助け合える環境を整えるようにする。		A		
		④ 教育・保育活動の評価	・保護者によるアンケートを実施し、評価から検証をする。		B		
	(2) 教育・保育内容/指導	① 指導計画の立案	・幼保連携型認定こども園の教育・保育要領やバンピーノの内容に沿った幼児の発達を計画や実践に反映させる。	・子どもの姿を通して語り合う場をつくり、共通理解していった。 ・園内公開保育では研究主題に沿って子どもの見方や関わり方について職員間で話し合えるようにした。	A	・必要な時に会議を持ち、乳児・幼児・園全体の連携を図った。 ・園内公開保育を行い、子ども理解や環境、援助等互いに学び合った。	・カリキュラムに基づいた各年齢の指導計画を立て、進めていく。 ・園内外の研修を通して子どもが主体的に活動できる環境や援助等を継続して探っていく。 ・職員間で話し合い連携を密にし子どもを見取る力をつけていく。
		② 保育内容の精選	・職員による指導計画の振り返りを行う。		B		
		③ 指導方法の工夫改善	・園内研修を計画的に行い、資質向上に努める。		B		
		④ 評価	・園外での研修やオンライン研修など参加しやすい環境を整える。		B		
	(3) 園行事	① 指導計画の立案	・子どもを中心に園行事を精選し、子どもが参加して魅力ある行事を創る。	・子ども達を中心に考え、それぞれにねらいや目標を持って、行事を計画実施した。 ・子ども達が主体的に活動し、各年齢の育ちや日常の取り組みを伝える場となるような行事ができた。	B	・行事について職員間で検討し、子どもを中心とした行事を行った。 ・子どもは主体的に参加し、様々な豊かな経験ができた。	・一つ一つの行事に関して振り返り、評価反省をし、課題を解決しながら立案をしていく。
		② 行事内容の精選	・子どもが主体的に取り組んでいけるよう過程を重視する。 ・保護者や地域と連携し、特色のある行事を実践した。		B		
	(4) 人権教育	① 人権教育指導計画の立案	・各年齢に応じた計画を立案し、保育者自身が人権感覚を磨き、一人一人の子どもを大切に思い丁寧に	・保育者自身が人権感覚を磨き、日々の保育の中で一人一人を大切な存在としてまた、一人一人がよい所をもつ存在であり、丁寧に関わっていけるように指導していった。 ・人権チェックシートを用いて保育を見直す機会を設けた。	A	・保護者アンケートの人権に関する項目でおおむねの評価は得られたが、今後見直しが必要だと感じている。	・保育者自身の日常の会話や言動、子どもへの言葉かけなど常に人権を意識する。 ・一人一人の人権が守られ、子ども達にも伝えて行く取り組みを継続していく。
		② 保育内容の精選	・園児一人一人の実態を把握し、個別の状況に応じた関わりをする。		B		
		③ 指導方法の工夫改善	・子どもの実態について共通認識をし、日々の保育の中で一人一人が大切な存在であることを伝え、指導して		B		
	(5) 生徒指導	① 組織的な指導	・全職員で共通理解をする。	・一人一人の子どもが置かれている状況を把握し、全職員で共通理解をして、家庭との連携を密にし、一人一人に応じた指導に進めてきた。	B	・家庭との連携を大切にしながら、一人一人の子どもをより理解し関わろうと努めた。保護者よりおおむね良の評価を得た。	・今後も保護者とコミュニケーションをとり、家庭と連携して取り組んでいく。
			・園児一人一人の実態を把握し、個別の状況に応じた関わりをする。		A		
			・園児に関する相談事など、家庭と連携を密にする。		A		
			・外部相談機関と連携を密にする。		A		
		⑤ いじめ・児童虐待問題について	・対処方針や指導計画が明確である	・職員間で意識を共有した。	A	・共通認識をもっている。	・職員間での意識を継続していく。
			・日頃より実態把握・早期発見に努めている	・子どもの状況を園内で情報共有した。	A	・職員間で情報共有が行われた。	・情報共有の場を整える。
			・各学級の状況を園組織として共有できている	・園内で情報共有をし子どもと関わった。	A	・子ども一人一人丁寧に関わった。	・子ども理解に努める。
			・保護者や地域と連携できている	・保護者や関係機関と連携をとった。	B	・担任、園長副園長で連携をとった。	・丁寧に関わり連携を図る。
	(6) 特別支援教育	⑤ 組織的に迅速に対応する体制が整備されている	・関係機関と連携をとり情報共有に取り組んだ。	・関係機関と連携をとり情報共有に取り組んだ。	B	・担任、園長副園長で連携をとった。	・情報共有をし連携を図る。
			・園内で会議を持ち、共通理解し協力しながら関わる。	・職員間で支援が必要な子どもの情報交換、共通理解をし、園全体で共通の関わりができるようにする。 ・個別に子どもの状況を把握し、家庭と話し合いを持ち、保護者の気持ちに寄り添いながら、関係機関との連携を図り取り組む。	A	・保護者と話し合い、理解を得てすすめた。 ・気にな子どもに関してはコーディネーターにも相談し、子どもの姿の理解や関わりを探った。 ・保護者と連携を密にすることで子どもにもよい影響が現れてきた。	・研修を重ね、園職員の中で共通理解を体制を整え、適切な支援を行う。 ・保護者との信頼関係を深める、関係機関との連携を今後も継続していく。
			・一人一人を丁寧に観察して子ども理解をし、一人一人にあった具体的な指導を行う。		A		
・一人一人の状況に応じた家庭と連携し支援計画を作成する。			A				
・作成した支援計画をもとに、家庭や関係機関と密に連携を図りながら支援を行う。			A				
	B						

(令和6年度)  
自己評価書

園番号	園名
707	月ヶ瀬こども園

707月ヶ瀬こども園

大項目	中項目	小項目	具体的評価項目及び指標	取組と成果	評価	評価の観点・理由	課題及び改善方策
Ⅱ 園 経 営 に 関 す る も の	(1) 組織運営	① 園長のリーダーシップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>園の取り組み・方針を周知する。</li> <li>迅速な意思決定で園運営を行う。</li> <li>職員一人一人を理解し、適材適所に配置する。</li> <li>園務分掌では、全職員が業務内容を理解できるように伝え、助け合える環境を整えるようにする。</li> <li>必要に応じて会議を設定し、職員間で周知すると共に共通理解をする場とする。</li> <li>風通しの良い人間関係をつくる。</li> <li>保護者への園評価を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>園の進むべき方向性や目標を明示し、常にそれを念頭に置きながら保育を行うように働きかけた。</li> <li>互いに自分の思いや考えが言える職場づくりをした。</li> <li>職員間で話し合う機会を大事にした。全職員での会議は行いにくい環境にあるが、できるだけ出られる時間帯を選び会議を行ったり、互いに伝え合えあったりできる環境をつくる。</li> <li>保護者からの園評価を真摯に受け止め、改善可能なところは改善を実施していく。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員が協力し合って各自の担当の役割を果たすことができているか見直ししながら進めてきた。職員一人一人が大切にされる関係性がさらに必要である。</li> <li>寸時に決定できるよう何事にも責任感を持って取り組む。</li> <li>必要に応じて職員間で話し合い、共通理解できるように努めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>組織の一員として園全体の取り組みを担うという参加意識を高めていく雰囲気づくりに努める。</li> <li>園の目標や方向性を明確に示し、さらに園運営がスムーズに行えるように努めていく。</li> <li>園内で情報共有や共通理解をするために会議内容は周知、また、職員間で話し合いをしていく。</li> </ul>
		② 園経営目標・方針					
		③ 職員の適正配置と運営への参加意識					
		④ 園務分掌等の連携					
		⑤ 会議の運営と位置づけ					
		⑥ 会議の結果					
		⑦ 職場の人間関係					
		⑧ 園評価の実施					
	(2) 研究・研修	① 資質の向上をめざした組織的・計画的な園内研修の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画的に園内研修を行い、参加しやすいように配慮する。</li> <li>研修は職員の資質向上に努める。</li> <li>園外研修に参加できるように体制をつくる。また、他園の公開保育研修に参加し、実践につなげていけるようにする。</li> <li>研修内容を職員間で周知、報告する場を設け共有する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資質向上や専門性を高めるために、園内公開保育・研修を形悪的に行った。園外での研修会や公開保育研修への積極的な参加を促した。</li> <li>適切な保育が提供できるよう、その場に応じて職員に指導や助言、互いに考え合うなどして進めた。</li> <li>子どもの姿を見取り、事例を出し合った。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修会を学ぶ場と捉え、誰かが参加できるように体制を組んだ。</li> <li>リモート研修にはできるだけ多くの職員が参加できるようにし、同じ研修を共有した。研修の共有方法を考慮していく必要はある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き職員の資質向上をめざし、研修体制を整え、学びの場をつくっていく。</li> <li>でいあシート等の更なる活用方法を考え、保護者に園の取り組みを知らせていく。</li> </ul>
		② 保育改善を目指した保育研究・実践の実施					
		③ 園外の研修への積極的参加					
		④ 園外研修内容の共有					
		⑤ 研修成果の普及					
	(3) 安全管理	① 安全計画の立案	<ul style="list-style-type: none"> <li>年度初めに計画を立て、職員に周知。</li> <li>月1回の消火及び避難訓練。</li> <li>災害時の職員の役割と動き方について確認する。</li> <li>大規模災害・非常時における家庭との連携確認をする。</li> <li>関係機関（消防署・警察など）との連携する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全管理マニュアルの確認と月1回の訓練を計画的に行った。</li> <li>災害時における職員の行動の確認と共に、保護者への引渡し訓練を実施した。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>消火・避難訓練後は職員間で意見交換をして反省点などを共有し今後につなげた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>しっかりと計画を立て、職員間で共通理解をして園児の安全を守るための働きかけがいつでもできるようにする。危機管理意識を全職員で高め、非常時の行動を身につける。</li> </ul>
		② 防災計画の立案					
		③ 危機管理体制の整備					
		④ 安全指導の工夫改善					
		⑤ 家庭との連携					
		⑥ 関係機関との連携					
	(4) 保健管理	① 保健計画の立案	<ul style="list-style-type: none"> <li>感染症マニュアルを周知する。</li> <li>感染症について正確な情報を得て、安心と安全を守る。また、園児の様子に気を配り心のケアにも努める。</li> <li>関係機関、園医、看護師、薬剤師と連携をとる。</li> <li>衛生的に昼食を行えるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの健康状態を把握し、変化があれば適切な処置を行う。</li> <li>子どもが自分の健康について関心が持てるような保育内容を取り入れ、衛生的に過ごせるように指導した。</li> <li>衛生管理について職員間で確認を行う。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>マニュアルについて職員に周知できているか確認した。（嘔吐物の処理等）</li> <li>手洗い・うがいなど基本的な感染症予防を子ども自ら取り組めるよう実践した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもや職員の健康管理、安全管理を心がける。</li> </ul>
		② 心のケアや健康相談の体制の整備					
		③ 健康観察、健康管理能力の育成					
		④ 関係機関との連携					
		⑤ 昼食の衛生管理					
	(5) 地域との連携	① 園情報の発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>園小中の連携を密にする。</li> <li>たよりやドキュメンテーション、ホームページ、でいあシート等で園の取り組みを発信。</li> <li>校区内で話し合いの場を持ったり、交流の場を設定したりする。</li> <li>学校評議員会を開く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域との交流を大切にしながら、園児の育ちに繋がる取り組みを進める。</li> <li>子どもの様子を見合う、交流を持つなど小学校と連携をとった。</li> <li>園の行事に可能な限り参加してもらい、園のことを理解してもらった。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域と子ども達の関わりについては計画どおりに実施できた。小学校とも子どもの交流がもてたが、職員間ではもっと必要だと感じる。</li> <li>地域の方には書面（たより）にて取り組みを知らせた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校との連携において、交流のみならず子どもの育ちについて子どもの職員間で更なる交流が必要である。</li> <li>今後も家庭、学校、地域、関係機関と連携して取り組みを進めていけるよう努力していく。</li> </ul>
		② 園(保育)公開					
		③ 小学校との接続・連携					
		④ こ幼保との連携					
⑤ P T A・保護者会の活性化							
⑥ 地域教育協議会との連携							
⑦ 学校関係者評価の実施							
(6) 施設・設備	① 保育環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>遊びの環境の見直しをする。</li> <li>遊具点検を毎月行う。</li> <li>危険箇所、補修箇所の定期点検を行い、把握と対応をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>園内外施設、遊具等の安全点検を行い、子ども達が安心して遊べる環境を整えた。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>園児にとって安全で過ごしやすい環境であるか、常に新鮮な感覚で点検し、必要に応じて速やかに対応した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期点検を徹底して行い、保育環境の整備、施設設備の管理に努める。</li> </ul>	
	② 施設設備の有効利用						
	③ 施設設備の管理						
(7) 情報管理	① 公文書の收受・保管	<ul style="list-style-type: none"> <li>公文書綴りを作成し、保管をする。</li> <li>個人情報の管理について職員間で共通理解し、個人情報の管理、保護を徹底する。</li> <li>個人情報を扱う場所について確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人情報の漏洩、記録媒体の管理等には最新の注意を払うことを注意喚起した。また、決められたマニュアルに基づいて、情報管理を行った。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報の取り扱いには細心の注意を払った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員が常に危機感を持ち、個人情報を取り扱っていくように、今後も情報管理に努めていく。</li> </ul>	
	② 公文書の作成						
	③ 個人情報の管理・保護						
	④ 情報の収集						
	⑤ 電子媒体の管理						